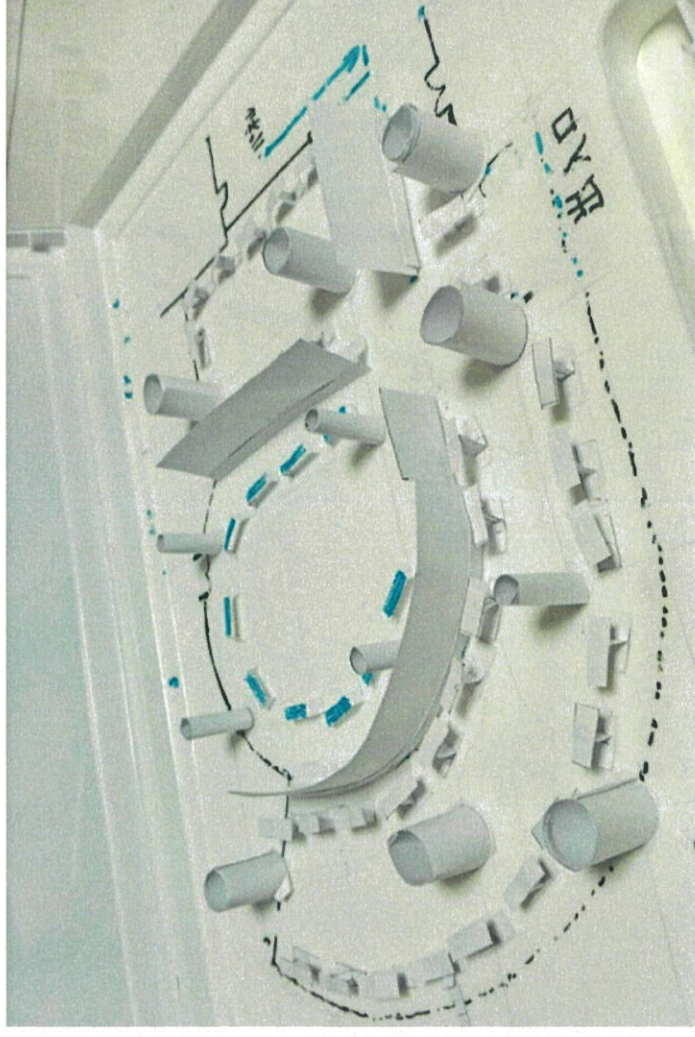


アネックス祭り

素案途中
9月24日19時

みんなで輝く未来！



料理
デザート
ドリンク
穀物
肉
魚

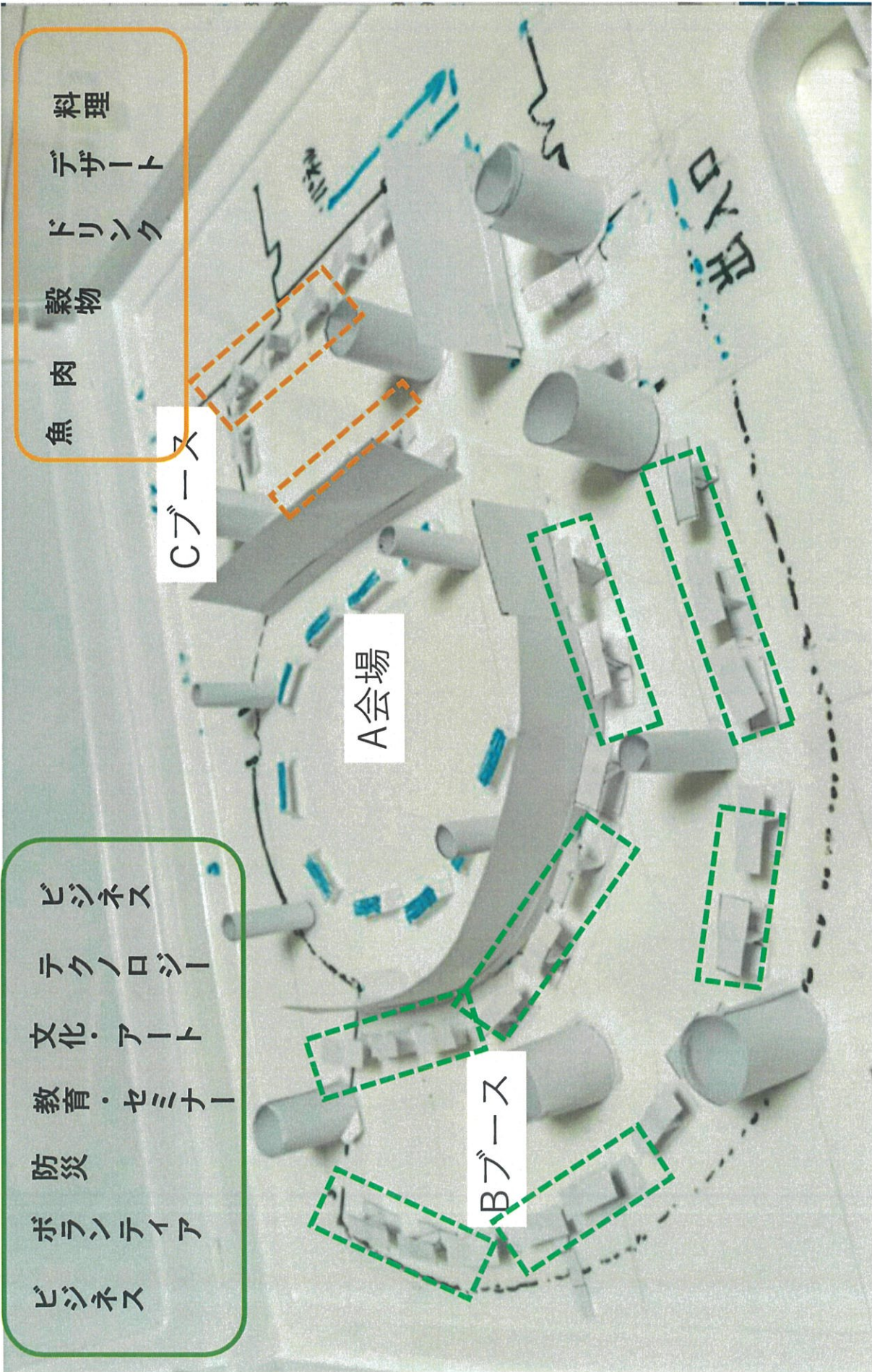
Cブース

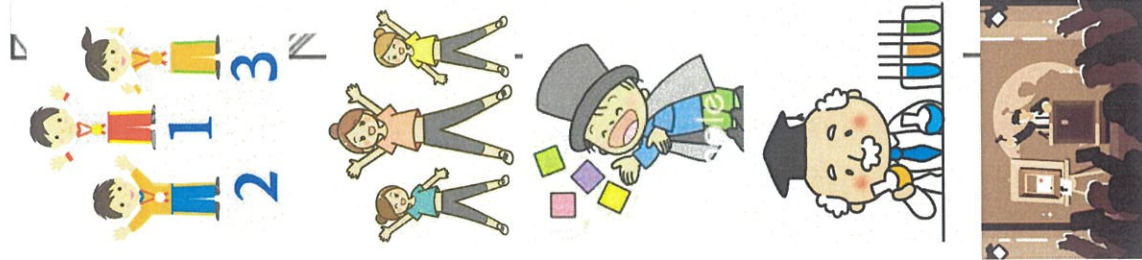
A会場

ビジネス
テクノロジー
文化・アート
教育・セミナー
防災
ボランティア
ビジネス

Bブース

出口





各ブースの役割

イベントをA会場（メインステージ）・B会場（ブース）・C会場（飲食／健康関連）に分けて、必要な担当者を整理

✓ A会場（メインステージ・ファッションショーやパフォーマンス）

会場責任者：全体の進行管理、出演者やMCとの連携
ステージ進行担当：出演者呼び込み、次のプログラム準備
音響・映像担当：マイク、BGM、映像チェック
観客誘導担当：入退場や座席案内、安全確保

✓ B会場（企業・団体・会員ブース）

会場責任者：各ブースの管理、出展者サポート
ブース調整担当：電源・備品・設営サポート
来場者案内担当：ブースの紹介、パンフレット配布
トラブル対応担当：備品不足や混雑対応

✓ C会場（飲食・健康系ブース）

会場責任者：飲食提供の安全管理、出展者対応
衛生管理担当：食品の取り扱い、ゴミ処理の確認
会計・チケット担当（必要なら）：飲食の決済や整理
来場者サポート担当：子どもや高齢者への配慮、座席案内

✓ 共通で必要な役割

受付担当：総合受付、参加者リスト管理、名札配布
案内担当：各会場への誘導、フロアマップ案内
広報担当：写真・動画撮影、SNS配信
緊急対応担当：体調不良やトラブル発生時に即対応

各ブースに担当者をつけることで、

受付・誘導：来場者をスムーズに案内できる

進行管理：時間通りにプログラムが回るようにサポート

トラブル対応：音響・機材トラブルや参加者からの質問に即対応

雰囲気づくり：会場ごとの特色を活かし、安心して楽しめる空気を演出する。

👉 各部屋（A会場、B会場、C会場）ごとに「どんな役割の担当者が必要か」を具体的な整理。

A会場について

A会場はメインステージなので、イベント全体の「顔」になります。
ファクションショーやパフォーマンス、PRタイムなど盛りだくさんだと思うので、ここはしっかり体制を整えるのが安心です。

A会場（メインステージ）の役割と担当

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1. 会場責任者
進行全体を把握し、出演者・MC・音響と連携 | トラブルが起きた時の最終判断役 |
| 2. ステージ進行担当（舞台監督的役割）
出演者の呼び込み・出番待ちの管理 | 次のプログラム準備（道具・小道具など）
「あと〇分です！」と時間管理 |
| 3. 音響担当
マイク音量、BGM、効果音の管理 | パフォーマンスごとの曲出し |
| 4. 映像・照明担当（あるなら）
プロジェクターやスクリーンの映像操作 | 照明のON/OFFや演出サポート |
| 5. 観客誘導担当
開場・退場の誘導 | 座席の案内（混雑時の整理）
緊急時の避難誘導
会場転換の指示 |
| 6. 舞台サポート（必要に応じて）
出演者の衣装や小道具の補助 | 子ども出演者や初心者へのフォロー |

必要な人数（目安）

最小限：4名（責任者1、進行1、音響1、誘導1）

 ポイントは、「出演者が安心してパフォーマンスできる環境」を作ることです。
そのためには、観客の安全管理と、舞台裏の円滑な進行がとても重要になります。

A会場はファッションショー中心だけど、単に歩くだけでなく「動き」や「PR要素」を入れて、さらに音楽演出で飽きさせない工夫を考えている。すごく魅力的な演出を打ち出す 描く演出家を設ける

ファッションショー+PR型ステージのポイント

1. 進行構成

モデルがランウェイを歩く

→ 歩きながら「自分の活動やブースのPR」を一言コメント

→ ラストポーズ+音楽の切り替えでメリハリを演出

(例：「私は〇〇という活動をしています！ぜひB会場のブースへ！」)

2. 音楽演出

2〜3曲ごとに雰囲気を変える (ポップ → クール → 和風 → ジャズなど)

出演者のジャンルに合わせたBGMを選ぶ

ショー終盤は盛り上げ曲を入れて会場全体を巻き込む

3. 動きの工夫

ウォーキング+ターンだけでなく、

モデル同士で軽くすれ違う演出

小物 (バッグ、和傘、ストールなど) を使う

簡単なポーキングやダンス要素を入れる

動きを取り入れることで「見ていて飽きないショー」に

4. PR要素の入れ方

20〜30秒でサクッとアピール (長いとテンポが崩れる)

スクリーンに名前や活動内容を表示する (映像担当がいると安心)

観客に「C会場で体験できます！」など次の行動を促す

5. 観客を飽きさせない工夫

MCを置いて軽いトークでつなぐ
音楽+照明で場面転換（「次のテーマは〇〇」と雰囲気を変える）
フィナーレで全員集合し、一斉ウォークで華やかに締める
..

A会場スタッフ体制（ファッションショー特化版）

会場責任者（1名）
ステージ進行（舞台袖からモデル送り出し 1名）
音響担当（1名）
映像・照明担当（1名）
MC（1名）

観客誘導（2名）

 合計：7名体制が理想（最小なら4～5名でも可能）

A会場を「ショー+PR+エンタメ」の複合ステージとして組むと、B・C会場にも観客を自然に流せると思います。

一般的な「洋服のファッションショー」だけでなく、食・ボランティア・ビジネスを「ファッション=見せ方」として演出する形です。観客にとっても「次は何が出てくるんだろう？」とワクワクしやすいですし、**B会場・C会場への導線**（ブースや飲食体験）にも直結できます。

🎨 ジャンル別ファッションショーの可能性と演出アイデア

① 食のファッション
シェフや飲食関係者がエプロンやコックコート姿でランウェイ野菜・果物を小物として持って登場
食をテーマにした「色のある衣装」（緑＝野菜、赤＝肉、白＝米など）最後に「**C会場**で試食できます！」と**PR**

② 洋服のファッション
学生デザイナーやブランド協力による王道のファッションショー
音楽や照明で雰囲気を変えて飽きさせない

③ ボランティアのファッション
ユニフォームや活動服で登場（消防団、防災ベスト、**NPOのTシャツ**など）
活動ツールを小物として持つ（救急バッグ、ゴミ拾いトングなど）
一言「私たちは〇〇活動をしています！」と**PR**

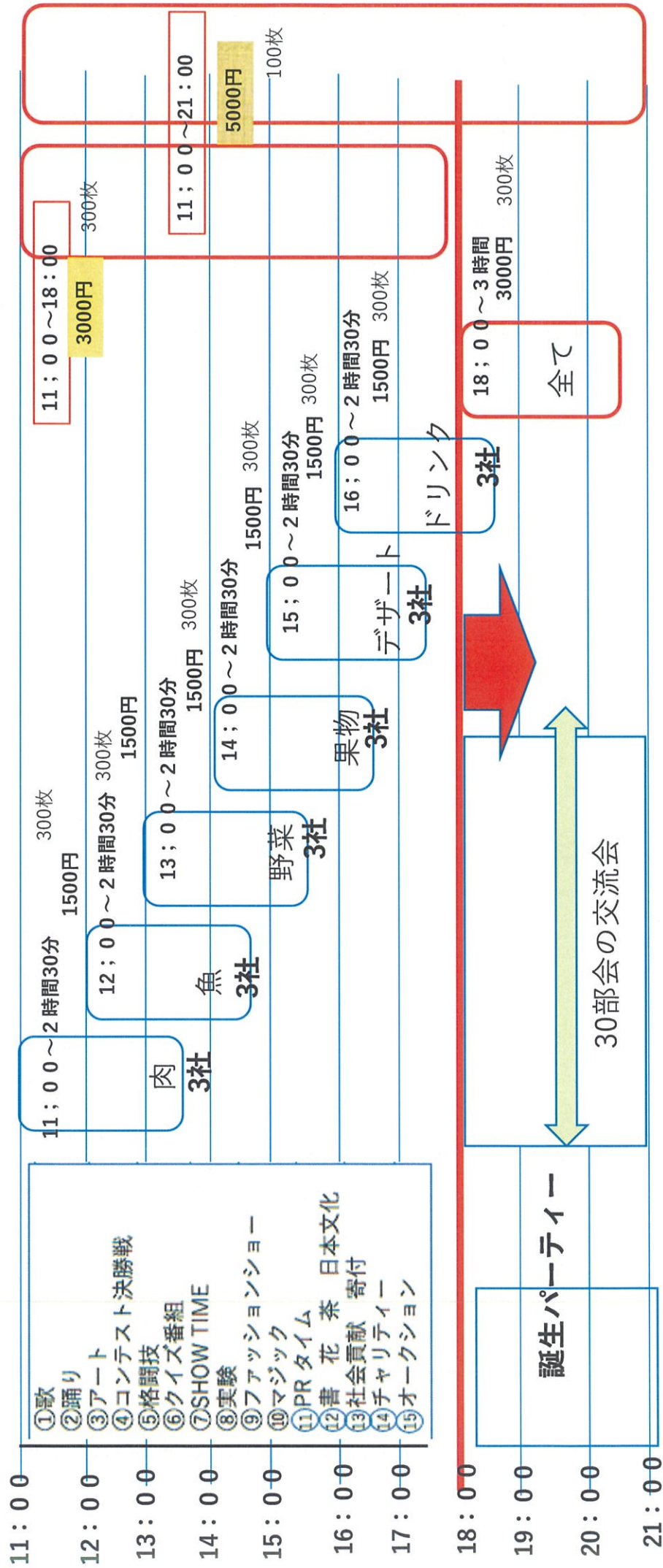
④ ビジネスのファッション
起業家や経営者がスーzustスタイルで登場
ランウェイで歩きながら「会社の理念」「挑戦」を**PR**
ネクタイ・バッグ・タブレットなどを小物に

その他いろんなアイデアを募る・・・

Bブースのカテゴリー分け

1. ビジネス：企業やスタートアップ、起業支援など。
2. ボランティア：NPOや地域貢献活動、社会貢献プロジェクト。
3. 防災：防災グッズ、避難訓練、災害支援の取り組み。
4. 環境：環境保護、サステナビリティ、リサイクル活動。
5. 教育：学習支援、ワークショップ、セミナー。
6. 文化・アート：アート展示、文化イベント、伝統文化の紹介。
7. テクノロジー：最新技術、イノベーション、デジタルツール。

アネックス D



18社スポンサー